

平成 29 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

愛知県

行 事 名 称	第 64 回文化財防火デーに伴う消防訓練
実施期間・日時	平成 30 年 1 月 21 日（日）9：00～9：50
実 施 場 所	尾張大国霊神社（愛知県稲沢市国府宮一丁目 1－1）
主 催 者	稲沢市消防本部・稲沢市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

重要文化財の楼門と拝殿が所在する尾張大国霊神社の境内にある儼追殿が放火により火災に至ったという想定。

訓練の内容

神社職員による火災発見、消防署への 119 番通報、建物調査・初期消火、重要物品（模擬箱）の持ち出し、初期消火時に負傷したとの想定による救急救護、消火器取扱い、消防車及び神社にある屋外消火栓による一斉放水

参加者及び役割分担

尾張大国霊神社宮司	: 謝辞
尾張大国霊神社職員（12 人）	: 119 番通報、建物調査・初期消火、非常持出、救急救護、消火器取扱い訓練（粉末消火器）、屋外消火栓からの放水
国府宮区住民（7 名）	: 非常持出、救急救護、消火器取扱い訓練（粉末消火器）
稲沢市消防団（11 名）	: 放水訓練
稲沢消防署稲沢東分署	: 救急搬送、放水訓練
稲沢市文化財愛護少年団（29 名）	: 消火器取扱い訓練（訓練用消火器）
稲沢市消防本部予防課長	: 総指揮者、講評
稲沢市消防本部予防課（5 名）	: 進行、指導
稲沢市教育委員会教育部長	: 挨拶
稲沢市教育委員会（3 名）	: スモークマシン発煙、記録
〈来賓〉	
稲沢市議会議員（2 名）	: 挨拶

特に工夫した点

尾張大国霊神社では、毎年神社職員による訓練を実施していたが、今年は市主催の消防訓練の実施会場として神社職員だけでなく、地域住民も参加したため、地域住民に協力を依頼して持ち出しや救護及び消火活動を行うという訓練を実施した。

また、文化財愛護少年団の団員である児童・生徒にも訓練用消火器を使用しての消火器取扱い訓練を実施。

問題点・課題

通常の参拝者の見学等はあったが、地域住民の見学等はあまり多くなかった。役割のある訓練参加者だけでなく、地域住民等の積極的な参加を呼びかけ、地域全体への文化財愛護意識の高揚を図ることも必要である。

その他

稲沢市では毎年、文化財所有寺社を会場に訓練を行っている。これまで、出来る限り各支所・市民センター地区に機会があるよう調整して会場を決定してきたが、今後も継続して実施していきたい。

また、それぞれの会場に合わせた訓練内容についても検討していきたい。

訓練風景

